



Economic Research Institute
for ASEAN and East Asia



2025 年 6 月 27 日
一般財団法人日本エネルギー経済研究所

『GX 実現に向けた電源確保と地域振興における原子力の役割』
シンポジウムに関する取材案内について

一般財団法人日本エネルギー経済研究所（IEEJ）は東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）と共同で、7 月 11 日（金）に『GX 実現に向けた電源確保と地域振興における原子力の役割』に関するシンポジウムを品川プリンスホテルにて開催いたします。

ご取材を希望される報道関係者は、7 月 9 日（水）12 時までにお申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、シンポジウム終了後にはプレス説明会を設ける予定です。

記

1. 日時・場所：7 月 11 日（金）13：00～17：30（12：30 開場）
品川プリンスホテル メインタワー36 階「ガーネット」
住所：東京都港区高輪 4-10-30
交通アクセス：品川駅（高輪口）より徒歩約 2 分
<https://www.princehotels.co.jp/shinagawa/access/>
 - シンポジウム：13:00～17:30 同ホテルメインタワー36 階「ガーネット」
＊マスコミフルオープン［一般向け、無料（要事前申込）］
 - プレス説明会：17:30～18:00 同ホテルメインタワー3 階「もみじ」
＊報道関係者向けの説明会
＊プレス説明会には、欧米オピニオンリーダー（日英同時通訳あり）、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）、日本エネルギー経済研究所（IEEJ）が参加予定
2. お申込み：7 月 9 日（水）12 時までに以下の方法でお申込み下さい。
 - 以下のURLまたは右のQRコードからお申込み下さい。
<https://bit.ly/NuclearSI-2025>
 - または、以下の宛先までメール（タイトルを「原子力シンポ東京」とした上で、「会社名・ご所属」「お名前」「連絡先（携帯番号）」を記載）にてお申込み下さい。
＊宛先E-mail：ieej.secretariat@tky.ieej.or.jp



＜報道機関からのお問い合わせ先＞
日本エネルギー経済研究所 研究戦略ユニット 中山
Tel: 070-8700-7976

＜別添資料：一般向けのチラシ＞

「GX実現に向けた電源確保と地域振興における原子力の役割」 シンポジウムのご案内

（一財）日本エネルギー経済研究所では、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）との共催による「原子力施設立地地域におけるステークホルダー・インボルブメント促進プロジェクト」の一環として、下記の通り国際シンポジウムを開催いたします。

GX（グリーントランスフォーメーション）実現が一層重要視されるなか、本シンポジウムでは原子力の役割を再確認することに加え、立地地域の振興という観点を取り入れることで、今後の脱炭素電源確保に向けた課題を国内およびアジア諸国の関係者間で共有するとともに、それらを踏まえた政策提言の取りまとめを目指します。

ご多忙の折大変恐縮ですが、ご参加賜りたくご案内申し上げます。

1. 開催概要

1) 日時

- 2025年7月11日（金）13：00～17：30（12：30 開場）

2) 会場

品川プリンスホテル メインタワー36階「ガーネット」

- 住所: 〒108-0074 東京都港区高輪 4-10-30
- TEL: 03-3440-1111
- 交通アクセス：新幹線・JR 線・京急線 品川駅（高輪口）より徒歩約 2 分
<https://www.princehotels.co.jp/shinagawa/access/>

3) 使用言語

- 日英、同時通訳付き

4) 参加費

- 無料（要事前申込）

5) 申込方法

- 以下のURLまたは右のQRコードから参加登録をお願いします。
<https://bit.ly/NuclearSI-2025>
- もしくは、「お問い合わせ先」のE-mailまたはFAX宛てに、会合名「原子力シンポ東京」、宛先「国際協力グループ行き」、所属団体名、部署名、役職名、お名前、連絡先（メールアドレス、電話番号）を明記の上、参加登録をお願いします。



6) 申込締切

- 2025年7月9日（水）12:00
※定員に達した場合は申込を締め切る場合がありますので、予めご了承下さい。

2. 主なプログラム ※予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

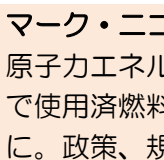
セッション1 新たな日本のエネルギー政策・原子力の最大限利用に向けて (13:00-13:40)	
基調講演 資源エネルギー庁（登壇者調整中）	
セッション2 海外事例の紹介 (13:40-15:00)	セッション3 国内 GX と地域振興 (15:10-16:30)
「欧米における、産業誘致および人材育成拠点整備を通じた原子力立地地域振興」 ハッリ・ヴァルヨネン氏（フィンランド） エイヤ・リッタ・コルホーラ氏（フィンランド） マイケル・ラシュトン氏（英国） マーク・ニコル氏（米国）	「脱炭素エネルギーを活用したデジタルインフラの実現 - Amazon の考え方 - 」 アマゾン ウェブ サービス エネルギー戦略担当 パトリック・レオナード氏 エネルギー調達担当 ベノワット・デュボー氏
	「GX 産業立地実現に向けた施策（仮）」 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 電力基盤整備課 課長 筑紫正宏 氏
	「経済団体によるエネルギー問題の議論」 経済同友会 元副代表幹事 栗原美津枝 氏
パネルディスカッション 海外から見た日本の GX と原子力 (16:30-17:15)	
モデレーター：日本エネルギー経済研究所 研究理事 小笠原 潤一 登壇者：海外スピーカー4 名	
総括・提言 (17:15-17:30)	

3. 海外スピーカー



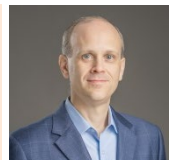
エイヤ・リッタ・コルホーラ氏（フィンランド）

欧州経済社会評議会 産業変化諮問委員会委員、ヘルシンキ市議会議員、元欧州議員など、幅広い経歴と知見を有する。原子力に対して否定的な立場であったが、気候変動や資源の観点から肯定的な考え方に。



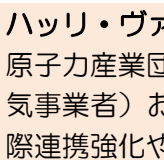
マーク・ニコル氏（米国）

原子力エネルギー協会（NEI）次世代原子力担当執行理事。複数の民間企業で使用済燃料管理、運転、新設など幅広い技術分野に関与。2011年よりNEIに。政策、規制、事業環境などの改善に向けた産業界の取り組みを主導。



マイケル・ラシュトン氏（英国）

バンガー大学 原子力未来研究所 教授 兼 メナイサイエンスパーク 理事。核物質の原子スケールシミュレーションを専門としつつ、ウェールズ地域における原子力人材育成と地域開発にも関与。



ハッリ・ヴァルヨネン氏（フィンランド）

原子力産業団体FinNuclear Association事務局長。技術者としてTVO（電気事業者）およびIAEAを経て、2023年より現職。フィンランド企業の国際連携強化や政府への提言などを主導。



4. お問い合わせ先

シンポジウム事務局（日本エネルギー経済研究所）

TEL：070-8700-7910（丸山）・070-7405-4393（吉田）

FAX：03-5547-0225

E-mail：ieej.secretariat@tky.ieej.or.jp